

公益財団法人鹿児島県環境保全協会

平成30年度事業報告

1 法定検査事業（公1）

(1) 法定検査事業

1) 法定検査の推進

平成30年度の検査目標基数を、7条検査6,000基、11条検査98,000基とし、受検率を38%程度に設定する。

【結果報告】

浄化槽法第7条に基づく検査（使用開始検査）の実施基数は6,016基（実施率100.3%）、同法第11条に基づく検査（定期検査）の実施基数は95,400基（実施率97.3%）となった。

また、使用開始検査の受検率は99.9%（平成29年度は99.8%）、定期検査の受検率は36.9%（平成29年度は36.7%）となった。

	目標基数	検査実施基数	実施率
7条検査	6,000基	6,016基	100.3%
11条検査	98,000基	95,400基	97.3%

(参考)

(1) 検査計画状況

平成30年度11条検査計画基数	98,240基
・検査実施基数	95,400基
・検査の延期	897基
・未使用等で検査が実施できなかった基数	1,424基
・廃止等で検査が実施できなかった基数	448基
・検査拒否基数	263基
・宛先不明等で調査が必要な基数	142基

2) 検査員の技術力及び信頼性の向上

検査員の技術力の向上を図るため、研修会及び勉強会等を実施するとともに、積極的に講習会等に参加させる。また、法定検査の信頼性を向上させるため精度管理の徹底化を図る。

【結果報告】

- ① 4月2日に、職員の資質及び検査員の技術力向上を図るため職員研修会を開催し、平成30年度の事業計画等について理解の徹底化を図った。

- ② 各検査員の技術力の向上を図るため、水質が悪化している浄化槽について原因究明フローを作成し、原因究明や改善の方法等の調査に取り組むとともに、九州地区指定検査機関協議会において、改善事例集を作成した。
- ③ 検査員の技術力向上を図るため、検査員がそれぞれ1つの課題（テーマ）を定め調査研究に取り組み職員間で共有化を図った。
- ④ 9月13日～14日に松山市で開催された「四国地区浄化槽指定検査機関協議会主催の検査員研修会」に4名参加し、受検率の向上対策や法定検査業務の効率化、今後の法定検査機関のあり方（イノベーション）等について意見交換、情報交換等を行った。
- ⑤ 10月9日～10日に名古屋市で開催された「全国浄化槽技術研究集会」に9名参加し、浄化槽技術や法定検査等の課題について情報交換等を行った。また、当協会からも研究発表を行った。

- 研究発表

「処理水の性状に着目した水質悪化施設の原因究明フローの構築と早期改善への取り組みについて」 企画課 中島検査員

- ⑥ 11月30日に福岡市で開催された「九州地区指定検査機関検査員研修会」に12名の検査員を参加させ、技術力の向上を図るとともに、情報交換を行った。また、その研修会で研究発表及び事例報告を行った。

- 研究発表

「処理水の性状に着目した水質悪化施設の原因究明フローの構築と早期改善への取り組みについて」 企画課 中島検査員

- 事例報告

「九指協会員のための情報共有サイトの立ち上げについて」

検査部 瀬戸川検査部長

「保守点検研修の実施について」 企画課 大町主査

- ⑦ 6月15日、12月26日・27日及び3月15日に検査員の技術力向上等を図るため検査員研修会を開催し、水質悪化施設の原因究明及び改善方法、基本検査試験運用の状況や今後の方針等について協議・検討を行った。

3) 効率化検査（基本検査+BOD検査）試験運用の拡大・実施

- ① 行政や関係団体等と連携し、浄化槽のあり方検討会で進めてきた「効率化検査」について、保守点検業者の協力を得て、浄化槽管理台帳の整備を行うとともに、試験運用の拡大・実施を図る。
- ② 保守点検記録票等の電子化を導入していない保守点検業者の電子化導入に目途がついたことから、保守点検・清掃記録票の受信等の確実化と精度の向上を図る。
- ③ 保守点検業者や市町村等行政等関係者に対して、「浄化槽のあり方検討会」の結果を踏まえ周知・徹底化を図る。

- ④ 法定検査の結果、不具合が認められる浄化槽（保守点検業者等に情報提供を行う対応レベル0）について、改善が図られるように、改善の方法等について調査研究を進め、改善の精度を高めることに努める。

【結果報告】

- ① 行政や関係団体等と連携し、基本検査を実施するための前提となる浄化槽台帳の整備（浄化槽設置基数ベースで98%）を行った。また、基本検査の試験運用については、平成29年度31社（8,911基）から平成30年度は45社（26,420基）に拡大を図った。
- ② 行政や関係団体等と連携し、保守点検業者82社のうち72社で保守点検記録票の電子化が導入された。（浄化槽設置基数ベースで97.4%）
- ③ 県が本県の効率化検査（基本検査+採水員検査）について、平成30年6月27日に環境省と正式に協議を行い、同年8月21日に協議が完了したことから、令和元年度末までの早い時期に実施できるように今後のスケジュール等について検討を始めた。
- ④ 基本検査の目的である問題の認められる浄化槽の早期改善を図るため、保守点検業者等に情報提供を行う対応レベル0の事項について、改善方法等のフローを作成し、改善の精度を高めるために調査研究等を行うとともに、九州地区指定検査機関協議会で改善事例集の作成を行った。

4) 採水員制度の検討

- ① 受検率の向上を図るため、早期に採水員制度について保守点検業者や行政等関係者と検討を行う。
- ② 採水員制度の円滑化を図るため、採水員制度の実施方法等について早期に検討を行う。
- ③ 採水員の資格要件を定め、採水員認定講習会の内容等を検討する。
- ④ 採水業務を保守点検業者に委託する場合の委託料等について検討を行う。

【結果報告】

県と環境省の協議が完了したことから、令和元年度末までの早い時期に実施できるように今後のスケジュール等について検討を始めた。

5) 不適正浄化槽の改善及び検査拒否者対策の推進

- ① 検査の結果「不適正」とされた浄化槽の原因究明や「所見」の明確化等に努め、迅速かつ適切に改善されるよう関係者との連携を密に行う。
- ② 鹿児島県浄化槽指導監督要領に基づき、県や市町村に対し不適正浄化槽の原因や受検拒否理由の具体的な報告に努め、不適正浄化槽の改善や受検拒否者対策に資

する。

- ③ 効率化検査の実施に伴い、浄化槽関係者と連携し、不具合の認められる浄化槽の早期改善に努める。

【結果報告】

- ① 検査の結果「不適正」とされた浄化槽の原因究明に努め、迅速かつ適切に改善されるよう関係業者とも協力して対応した。
- ② 県に、不適正浄化槽の原因や受検拒否の理由を具体的に報告し、不適正浄化槽の改善や受検拒否者対策の推進に努めた。
- ③ 基本検査の試験運用の中で、保守点検業者等に情報提供を行う浄化槽（対応レベル0）640基について、改善フローにより改善案を作成し、保守点検業者に情報提供を行い、改善率は79.8%となった。（平成29年度は68.3%）

6) 啓発の推進

- ① 法定検査の必要性や浄化槽の公共的機能について、市町村広報紙・回覧板やチラシ等により啓発を行うとともに、保守点検業者等と連携し維持管理の重要性等について効果的な啓発を推進する。
- ② 効率化検査（基本検査＋採水員検査）の制度について、設置者等が理解できるようなパンフレット等を作成し、効果的な啓発を推進する。

【結果報告】

- ① 検査対象者に法定検査についての啓発用パンフレットを送付し、啓発に努めた。
- ② 県や市町村の協力を得て、市町村広報紙や回覧板による法定検査受検の啓発を行った。
- ③ 浄化槽事務の権限移譲を受けているいちき串木野市、日置市、垂水市、伊佐市及び南九州市と協力して、10人槽以下の家庭用浄化槽の検査対象者に対し、市長名で啓発用の文書等を送付し、検査業務の円滑な推進に努めた。
- ④ 7条検査実施時に法定検査等に関するパンフレットを配付し、啓発を行った。
- ⑤ わかりやすい検査結果書や啓発パンフレットの検討に資するため、全国の指定検査機関に検査結果書や啓発用パンフレット等の提供を依頼し、収集した。

(参考)

市町村広報紙への掲載状況

市町村名	掲載月	市町村名	掲載月	市町村名	掲載月
鹿児島市	6月	始良市		屋久島町	11月
指宿市	5月	霧島市	6月	奄美市	6月
南さつま市	10月	湧水町	9月	大和村	
枕崎市	11月	曾於市	6月	宇検村	7月
南九州市	6月	志布志市	6月	瀬戸内町	7月

市町村名	掲載月	市町村名	掲載月	市町村名	掲載月
いちき串木野市	6月	大崎町	5月	龍郷町	6月
日置市	8月	鹿屋市	6月	喜界町	6月
三島村	—	垂水市	6月	徳之島町	6月
十島村	5月	東串良町	9月	天城町	5月
薩摩川内市	7月	肝属町	6月	伊仙町	5月
さつま町	2月	錦江町	6月	和泊町	6月
出水市	7月	南大隅町	2月	知名町	6月
阿久根市	9月	西之表市	5月	与論町	6月
長島町	5月	中種子町	10月		
伊佐市	7月	南種子町	10月	計	40

7) 未収金回収の徹底化

未収金について、検査員による訪問集金の徹底化を図るとともに、検査実施から4年経過した未収金については、弁護士事務所からの督促が有効であることから契約を更新し、未収金の回収に努める。

【結果報告】

- ① 検査実施後3か月、6か月経過して、検査手数料が支払われていない浄化槽管理者に対し、夜（6～8時）に検査員による訪問集金を実施して未収金の回収に努めた。
- ② 検査実施から4年経過した未収金について、弁護士法人シーライト法律事務所に回収を委任し下表のとおり回収した。

委任件数	委任金額（円）	回収金額（円）	回収率（％）
803	10,150,000	4,196,600	41.3

8) 将来計画・業務運営の健全化等(検査手数料の改定) について検討

浄化槽法定検査あり方検討会での方針が、効率化検査（基本検査＋採水員検査）の方向に固まってきたことから、受検率の向上及び将来計画等、業務運営の健全化を考慮し、法定検査手数料の改定を行う。

【結果報告】

県が平成30年6月27日に環境省と効率化検査について正式に協議を行い、8月21日に環境省との協議が完了したことから、本県の効率化検査の内容に沿って、受検率の向上及び将来計画等、業務運営の健全化を考慮し、法定検査手数料の改定作業を始めた。

(2) 生活排水調査等の推進

法定検査などにより蓄積したデータを生かし、市町村等からの水質調査等の要請に対応する。

【結果報告】

市町村等に浄化槽の普及に関する助言等を行うとともに、生活排水に関する環境調査事業等（182件、9,959,541円）を受託した。

内 容	件 数
浄化槽の保守点検の補完的水質分析	167件
市町村管理型浄化槽の普及に関する助言・指導	8件
その他	7件
総 計	182件

2 浄化槽普及啓発・適正化推進事業（公2）

(1) 浄化槽普及啓発

1) 浄化槽設置の広報

- ① 行政と協力して県内各地のふるさと祭り等に浄化槽コーナーを設けて出展し、地域住民に合併処理浄化槽の設置等について広報する。
- ② 県内の生活排水対策の現状を取りまとめた資料集「かごしまの生活排水対策（平成30年度版）」を作成し、本県の生活排水対策の状況について広報する。

【結果報告】

- ① 県内4か所のふるさと祭り等に浄化槽コーナーを設けて出展し、協会会員及び行政と協力して地域住民に合併処理浄化槽の設置等について広報活動を行った。

市町村	イベント名	出展日
薩摩川内市	薩摩川内市次世代エネルギーフェア&わくわくお仕事博覧会	7月29日（土）
いちき串木野市	地かえて祭り	11月3日（土）～4日（日）
伊佐市	伊佐ふるさと祭り	11月10日（土）～11日（日）
南さつま市	金峰ふるさと産業まつり	11月25日（日）



地かえて祭り（いちき串木野市）



伊佐ふるさと祭り（伊佐市）

- ② 県内の生活排水対策の現状を取りまとめた資料集「かごしまの生活排水対策（平成30年度版）」を浄化槽推進市町村協議会と共同で2月に発行した。

2) 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換推進

県、市町村及び会員と協力して、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換推進を図る。

【結果報告】

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換推進リーフレットを100,000部作成し、9月から11月の間に、管理業会員の協力により単独処理浄化槽を使用している家庭等に配付した。

3) 浄化槽整備事業の円滑な実施の支援

- ① 国・県が浄化槽事業の最も望ましい事業として推進している「浄化槽市町村整備推進事業」について、県と連携して事業導入を市町村に働きかけるとともに、同事業を実施している市町村に対し事業の円滑な実施を支援する。
- ② 鹿児島県浄化槽推進市町村協議会と連携して、県選出国會議員及び県当局に対し、浄化槽関連予算の確保並びに浄化槽関係諸制度の改善等についての要望活動を行う。

【結果報告】

- ① 浄化槽市町村整備推進事業等について、他県の状況等の情報を収集した。
- ② 県選出国會議員及び県当局に対し、鹿児島県浄化槽推進市町村協議会と共同で、平成31年度の浄化槽予算の確保、市町村整備推進事業に対する県補助金の増額等について要望した。

- 県への要望

要 望 日 平成30年10月22日

要 望 者 柴立理事長、宮路市町村協議会会長（日置市長）
山野副理事長、中菌専務理事、原常務理事、
今辻常務理事（市町村協議会常任理事兼務）
牧事務局長（市町村協議会事務局長兼務）

要 望 先 鹿児島県知事、土木部長、生活排水対策室長

要望内容

- (1) 平成31年度浄化槽整備事業交付金予算額の確保
- (2) 浄化槽市町村整備推進事業に対する県補助金の増額
- (3) 合併処理浄化槽への転換に対する県補助金の拡充

- 県選出国會議員への要望

要 望 日 平成30年11月22日

要 望 者 中菌専務理事、今辻常務理事（市町村協議会常任理事兼務）

要望内容

- (1) 平成31年度浄化槽整備事業交付金予算額の確保
- (2) 浄化槽整備事業の助成率の嵩上げ
（現行1/3 → 1/2）
- (3) 単独処理浄化槽入替に対する基準額の引き上げ
- (4) 浄化槽の維持管理に対する公的助成制度の創設

4) 浄化槽講演会の開催

協会創立40周年を記念して、行政関係者や会員を対象とした浄化槽普及啓発のための講演会等を開催する。

【結果報告】

平成30年7月10日に開催した協会創立40周年記念式典において、環境省浄化槽推進室の講師により「生活排水対策としての浄化槽の役割」と題して講演会を行った。

開催日	平成30年7月10日
会場	鹿児島サンロイヤルホテル
演題	生活排水対策としての浄化槽の役割
講師	環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課 指導普及係長 板倉 舞 氏
出席状況	来賓41名 会員147名 役員・職員25名 計213名



(2) 浄化槽全般の適正化の推進

1) 技術研修会等の開催

- ① 浄化槽関係事業者を対象とした技術研修会等を開催し、関係業者の技術力の向上を図る。
- ② 鹿児島県浄化槽推進市町村協議会の事務局を担当するとともに、市町村の浄化槽担当者の研修会等を開催し、浄化槽整備事業の円滑な実施を支援する。

【結果報告】

- ① 浄化槽設備士試験の受験者を対象に、6月13日から15日の3日間受験準備講習会を開催した。

受講者は29名で、内17名が受験し4名が合格した。今年は台風による新幹線の運休の影響等で9名が受験できなかった。

合格率は23.5%で、福岡試験会場全体の合格率17.5%より6ポイント高かった。



- ② 浄化槽維持管理技術の向上を図るため、9月5日に浄化槽管理士を対象に浄化槽維持管理技術研修会を開催した。(出席者は273名)



- ③ 保守点検作業が複雑なモアコンパクト型浄化槽について、現場研修を含めた研修会を保守点検業者ごとに開催してほしいとの要望が強かったことから、各地区の検査員が保守点検業者ごとに研修会を29か所で開催した。
(参加管理士448名)



(カットモデル研修)



(現地研修)

- ④ 支部において開催される技術研修会に職員を講師として派遣するなどして支部活動を積極的に支援し、会員の技術向上を図った。
- ⑤ 鹿児島県浄化槽推進市町村協議会の事務局を担当するとともに、市町村の浄化槽担当者の研修会を8月21日にマリンパレスかごしまで開催し、浄化槽整備事業の円滑な実施を支援した。



2) 浄化槽設置者の啓発

- ① 浄化槽に対する意識の啓発を図るため、浄化槽の新規設置者に対して、関係

書類の保存ファイルを配布する。

- ② 浄化槽の適正な使用方法や法定検査・維持管理の重要性を周知するため、「浄化槽のしおり」を作成し、浄化槽設置者に配布する。
- ③ 市町村と連携し、県内の小中学校等において、地域の水環境の保全、生活排水対策の必要性等について環境学習を実施する。
- ④ 市町村と連携した浄化槽設置予定者等に対する浄化槽講習会の定期的開催に向けて検討する。

【結果報告】

- ① 浄化槽推進市町村協議会と共同で、「浄化槽関係書類保存用ファイル」及び「浄化槽のしおり」を作成し、市町村を通じて浄化槽の新規設置者に配付した。
- ② 県内の4小学校において、地域の水環境の保全、生活排水対策の必要性等について環境学習の出前講座を実施した。

実施日	学校名	学年	人数	備考
6月28日	南九州市立 清水小学校	3～6	9	複式学級
11月13日	伊佐市立 山野小学校	4	15	
11月13日	伊佐市立 本城小学校	3・4	18	複式学級
2月28日	いちき串木野市立 生福小学校	4	19	



伊佐市立 本城小学校



南九州市立 清水小学校

- ③ 8月21日開催した鹿児島県浄化槽推進市町村協議会の行政職員研修会において、一般財団法人佐賀県環境科学検査協会の担当者から佐賀県で実施している設置予定者講習会の状況について説明を受け、本県での実施について検討した。

3) 浄化槽に関する情報の発信

- ① 会報誌「浄化槽かごしま」を定期的に発刊し、浄化槽関係業者、市町村、関係機関等に浄化槽に関する最新の情報を提供する。

- ② ホームページを充実強化し、浄化槽に関する各種情報を県民等に提供するとともに、浄化槽の正しい使い方や各種手続き等について広報する。

【結果報告】

- ① 「浄化槽かごしま」を浄化槽推進市町村協議会と共同で3回発行し、会員、市町村、関係機関等に浄化槽に関する最新の情報を提供した。
 第76号 平成30年 6月発行 「協会29年度事業報告」など
 第77号 平成30年11月発行 「協会40周年記念式典」など
 第78号 平成31年 3月発行 「国の浄化槽関係予算案」など
- ② ホームページを随時更新し、浄化槽に関する情報を県民等に提供するとともに、浄化槽の正しい使い方や各種手続き等について広報に努めた。

4) 浄化槽に関する課題等の解決対応

- ① 県民や浄化槽関係業者、市町村等行政からの浄化槽に関する質問や技術的相談に随時対応するとともに、浄化槽工事や維持管理に対する苦情の処理と改善・再発防止策の提示等を行い、浄化槽に対する信頼性の向上に努める。
- ② 浄化槽の課題等について調査・協議し、浄化槽の適正化の推進を図り、信頼性の向上に努める。

【結果報告】

- ① 人員算定や浄化槽工事、法定検査等に関する各種相談・問い合わせ等に対して、分かりやすい技術的な助言や説明を行った。

相談者 相談内容	業 界 関 係 者	行 政 関 係 者	一 般 住 民 そ の 他	合 計
処理対象人員算定に関する事	32	16	1	49
浄化槽工事等に関する事	12	8	0	20
手続き等に関する事	7	4	1	12
その他	3	4	0	7
合 計	54	32	2	88

- ② 検査結果の解析・現地調査等で確認した不具合について改善策を関係業者等へ提示した。

また、不具合事例の情報を各種研修会や業者ごとの勉強会等で提示し再発防止に努めた。

3 浄化槽機能保証事業（公3）

浄化槽に機能異常が発生した場合に原因者を明らかにして、当該原因者による補修等の措置を確保するとともに、原因者が明らかにできない場合等には、設置者に負担をかけずに浄化槽の補修等の措置を確保するため、一般社団法人全国浄化槽団体連合会で制度化されている「浄化槽機能保証制度」を推進し、浄化槽に対する県民の信頼と安心・安全の確保を図る。

【結果報告】

- ① 平成30年度の登録基数は3,224基で、前年度と比較して351基減少した。

平成30年度機能保証登録状況

月	当年度登録基数	前年度登録基数	増減
4月	445基	503基	△58基
5月	347基	360基	△13基
6月	292基	371基	△79基
7月	272基	308基	△36基
8月	289基	279基	10基
9月	275基	290基	△15基
10月	326基	335基	△9基
11月	266基	340基	△74基
12月	195基	217基	△22基
1月	199基	238基	△39基
2月	141基	153基	△12基
3月	177基	181基	△4基
計	3,224基	3,575基	△351基

- ② 平成30年8月20日に伊佐市の設置者から、内部仕切り壁の不具合で保証の申し立てがあり、9月26日に機能保証制度審査委員会を開催し保証制度により補修することが決定したが、その後メーカーが自社負担で改修することとなり修理は完了した。

また、内部仕切壁の不良で2件について機能保証手続きを進めていたが、いずれもメーカー保証期間を経過していたもののメーカーによる保証修理となった。

4 主要な会議等

(1) 理事会

平成30年 4月23日	第1回	(1) 評議員会招集の件
平成30年 5月 9日	第2回	(1) 評議員会招集の件
平成30年 5月25日	第3回	(1) 平成29年度事業報告・計算書類等承認の件 (2) 平成30年度定時評議員会招集の件 (3) 副理事長及び代表理事、専務理事選定の件 (4) 常勤役員（専務理事）の報酬月額承認の件 【報告事項】 ① 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 ② 浄化槽法定検査あり方検討会について ③ 会員総会及び協会創立40周年記念式典等の開催について ④ 会員の状況について 【その他】 (1) 県知事及び県選出国會議員への要望事項について
平成30年 8月17日	第4回	(1) 評議員会招集の件
平成30年11月29日	第5回	(1) 業務執行状況(上半期)の報告
平成30年11月29日		理事・監事・評議員・代議員合同講演会 ① 国の浄化槽行政について 講師：環境省浄化槽推進室室長 松田尚之様 ② 県の浄化槽行政について 講師：県土木部生活排水対策室室長 田中寛様
平成31年 3月26日	第6回	(1) 2019年度事業計画・収支予算(案)承認の件 (2) 給与規程一部改正承認の件 (3) 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正及び常勤役員の報酬月額承認の件 (4) 重要な職員(案)承認の件 (5) 「特定費用準備資金」創設(案)承認の件 (6) 職員を兼務する役員の職員給与の承認の件 【報告事項】 ① 浄化槽法定検査あり方検討会及び環境省との協議の結果について

(2) 評議員会

平成30年 4月27日	第1回	(1) 理事選任の件 (2) 評議員選任の件
平成30年 5月16日	第2回	(1) 理事選任の件
平成30年 6月20日	定時	(1) 評議員選任及び評議員会会長選定の件 (2) 平成29年度事業報告・計算書類等承認の件 (3) 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正の件 【報告事項】

		<ul style="list-style-type: none"> ① 平成30年度事業計画・収支予算について ② 浄化槽法定検査あり方検討会について ③ 会員総会及び協会創立40周年記念式典の開催について
平成30年 8月22日	第4回	<ul style="list-style-type: none"> (1) 理事選任の件 (2) 評議員選任の件

(3) 監査等

① 監事監査

平成30年 5月11日	平成29年度事業報告・決算の件
平成30年 8月 2日	業務監査
平成31年 2月19日	業務監査

② 県の公益法人立入検査

平成31年 1月28日	公益法人立入検査（3年に1度）
-------------	-----------------

(4) 代議員会

平成30年 7月10日	第1回	<ul style="list-style-type: none"> (1) 代議員長、副代議員長の選出について 【報告事項】 (1) 平成29年度事業報告及び収支決算について 【その他】 ① 会員総会・記念式典等について ② その他
平成30年 8月 2日	第2回	(1) 新入会員の承認について
平成30年11月29日	第3回	(1) 新入会員の承認について
平成31年 3月15日	第4回	<ul style="list-style-type: none"> (1) 2019年度事業計画・収支予算(案)について 【報告事項】 ① 支柱省略工事に関する基準等の見直しについて 【その他】 ① 2019年度会員総会等の開催予定について ② 2019年度会員総会における理事長表彰候補者の推薦について ③ 2019年度環境省浄化槽推進関係予算(案)の概要について ④ 会員の状況について

(5) 各委員会

平成30年 4月 18日	第1回	<p>製造委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 委員長、副委員長について 【報告事項】 (1) 省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業について (2) モアコンパクト型浄化槽への県からの意見について
--------------	-----	---

平成30年 6月14日	第1回	総務企画委員会 (1) 理事長表彰者の決定について
平成30年 7月31日	第1回	工事委員会 (1) 副委員長の選定について 【報告事項】 (1) 平成29年度法定検査結果について (2) PC底版の普及状況について (3) 省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業について (4) その他
平成30年 8月 2日	第1回	管理委員会 (1) 副委員長の選定について 【報告事項】 (1) 平成29年度法定検査結果について (2) 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業について (3) 浄化槽維持管理研修会の内容について (4) 単独処理浄化槽設置家庭へのリーフレット配布について
平成30年12月20日	第2回	工事委員会 (1) 支柱省略工事の採用要件の見直しについて (2) 浄化槽適正工事マニュアルの改訂について 【報告事項】 ① 繊維補強コンクリート底版について
平成31年 1月24日	第3回	工事委員会 (1) 支柱省略工事の採用要件の見直しについて (2) 適用開始時期等について 【その他】 ① 2019年度国の浄化槽推進関係予算(案)の概要について
平成31年 2月 4日	第2回	管理委員会 (1) 管理賦課金の見直しについて 【その他】 ① 2019年度国の浄化槽推進関係予算(案)の概要について

(6) 会員総会

平成30年 7月10日	会員総会 (210名) 【報告事項】 (1) 平成29年度事業報告及び計算書類等について (2) 平成30年度事業計画及び収支予算について (3) その他 協会創立40周年記念式典 (213名) 演題：「生活排水対策としての浄化槽の役割」 講演：環境省浄化槽推進室 板倉舞氏
-------------	---

(7) 機能保証制度審査委員会

平成30年 9月26日	(1) 委員長及び副委員長の選出について (2) 保証申し立て事案の審査について
-------------	---

(8) 支部総会

平成30年 4月20日	日置支部総会 (原常務) 種子島支部総会 (今辻常務)
平成30年 4月24日	奄美支部総会 (牧事務局長) 隼人支部総会 (今辻常務・木佐貫課長)
平成30年 5月15日	鹿児島市支部総会 (前田専務)
平成30年 5月18日	始良支部総会 (右田・木佐貫課長) 伊佐支部総会 (今辻常務)
平成30年 5月24日	出水支部総会 (原常務) 肝属支部総会 (牧事務局長)
平成30年 5月25日	曾於支部総会 (木佐貫課長)
平成30年 6月 8日	南薩支部総会 (右田課長)
平成30年 6月13日	川薩支部総会 (岩切課長)
平成30年 6月23日	沖永良部・与論支部総会 (今辻常務)

(9) 浄化槽の法定検査あり方検討会関係

平成30年11月 2日	第13回作業部会 (効率化検査等検討部会) (1) これまでの経緯について (2) 第6回あり方検討会の意見等について (3) 環境省協議について (4) 試験運用の結果について (5) 今後の進め方について (6) その他
平成31年 2月12日	第13回作業部会 (行政指導等検討部会) (1) これまでの経緯について (2) 第6回あり方検討会の意見等について (3) 環境省協議について (4) 県浄化槽事務取扱要領の改正について (5) 県浄化槽指導監督要領の改正について (6) 県民への啓発について (7) 今後の進め方について (8) その他
平成31年 3月26日	第7回法定検査あり方検討会 (1) これまでの経緯について (2) 環境省協議の結果について (3) 県浄化槽事務取扱要領の改正について (4) 保守点検記録票等の電子化の状況及び基本検査の試験運用について (5) 県民への啓発について

	(6) 今後の進め方（案）について (7) その他
--	------------------------------

(10) 全浄連・指定検査機関関係

平成30年 6月 8日	全浄連九州地区協議会・指定検査機関協議会合同総会 (大分市：栗脇副理事長、原常務、今辻常務、牧事務局長) ・平成29年度事業報告・収支決算承認 ・平成30年度事業計画・収支予算承認
平成30年 6月29日	全浄連定時総会（東京：栗脇副理事長、今辻常務、右田課長） ・平成29年度事業報告・収支決算承認 ・平成30年度事業計画・収支予算承認
平成30年 7月27日	九州地区指定検査機関協議会検査実務責任者会議 (福岡市：原常務、瀬戸川検査部長、中島検査員) (1) 九州地区検査員研修会の内容について (2) 改善事例集の作成について (3) 検査機関の課題に関する情報交換等
平成30年 9月 7日	九州地区指定検査機関事務局長会議 (大分市：原常務、牧事務局長) (1) 大規模災害時における応援協力・支援活動に関する協定書について (2) 九指協会員のための情報共有サイトの立ち上げについて (3) 「九州地区浄化槽水質改善事例集」の作成について (4) その他情報交換
平成30年 9月13日 ～9月14日	四国地区指定検査機関研修会（松山市で開催：4名参加） 講演「中・大型浄化槽の維持管理について」 (日本環境整備教育センター：仁木 圭三) ① 研究発表（四国4県） ② パネルディスカッション 「指定検査機関のイノベーションについて」
平成30年10月 1日	全浄連第32回全国浄化槽大会（東京：栗脇副理事長、中藺専務）
平成30年10月 2日	全浄連第23回理事会（東京：栗脇副理事長） (1) 平成30年度委員会・部会の年間テーマについて (2) 機能保証制度について (3) 西暦問題について (4) 全浄連法人許可40周年記念式典について
平成30年11月15日	全浄連九州地区協議会臨時会議 全浄連機能保証制度の見直しについて (福岡市：栗脇副理事長、今辻常務)
平成30年11月30日	九州地区指定検査機関検査員研修会 ① 研究発表（8テーマ） ② 報告事項（3テーマ）
平成31年 2月 5日	全浄連第24回理事会（東京：栗脇副理事長） (1) 定款の改正案について

	(2) 全浄連地区協議会規約の改定について (3) 平成31年度の環境省委託事業について 【協議事項】 ① 各委員会・部会における検討事項について
平成31年 2月25日 ～2月26日	平成30年度全国浄化槽団体連合会事務局長等会議 (東京：原常務、牧事務局長) (1) 行政課題の説明 最近の浄化槽行政の動向 (2) 2019年度管理士・設備士の国家試験・講習等 (3) 平成30年度の主な出来事と事業計画の執行状況 (4) 2019年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金について
平成31年 3月20日	全浄連第25回理事会 (東京：栗脇副理事長) (1) 平成30年度補正予算案について (2) 2019年度事業計画案について (3) 2019年度予算案について (4) 全浄連法人許可40周年記念式典における表彰について (5) 副会長の補充選任について (関東地区協議会) (6) その他 浄化槽保証情報管理システムの見直しについて 【報告事項】 ① 第33回「浄化槽の日」標語募集要項と広報活動について

(11) 講習会・研修会の開催

① 浄化槽設備士試験準備講習会

平成30年 6月13日 ～15日	・会員、会員外問わず、浄化槽設備士 (国家試験) 試験受験者の 準備講習会 (受講者：29名)
---------------------	---

② 浄化槽維持管理技術研修会

平成30年 9月 5日	・会員の浄化槽管理士の維持管理技術の向上を目的として開催 (受講者：298名) (1) 鹿児島県の浄化槽行政について (2) フロートレス自動交互運転ポンプについて (3) DO計の原理と取扱について (4) 水質悪化施設の原因究明の考え方について (5) 水質悪化施設の改善事例について (6) 省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業について
-------------	---

③ 支部研修会

平成30年10月12日	奄美支部研修会 (瀬戸川部長)
平成30年10月26日	肝属支部研修会 (牧事務局長・木佐貫課長)
平成30年10月29日	鹿児島市支部研修会 (坂元課長)
平成30年11月 2日	隼人・始良・伊佐支部研修会 (今辻常務・木佐貫課長)

④ 保守点検業者毎に、保守点検の作業に着目した浄化槽維持管理技術研修会

開催日	保守点検業者等	参加管理士(人)
平成30年 4月13日	鹿環協 南薩熊毛ブロック	16
平成30年 6月 1日	始良衛生・岩掃	24
平成30年 6月29日	大隅衛生曾於	24
平成30年 7月13日	大隅衛生鹿屋	17
平成30年 7月19日	大隅衛生志布志	45
平成30年 7月27日	南薩東京社	26
平成30年 8月29日	大口伊佐清掃社	25
平成30年 8月30日	三州衛生公社	23
平成30年 8月31日	国分隼人衛生公社	45
平成30年 9月21日	肝属環境サービス	13
平成30年10月10日	いちき串木野市(保守点検6業者、清掃1社)	18
平成30年10月11日	サンクリーン大東	14
平成30年10月12日	あさくま浄化槽メンテナンス	10
平成30年10月18日	庵地衛生センター・サニタリー・山ノ内衛生	36
平成30年10月22日	出水清掃	7
平成30年10月30日	中種子清掃	8
平成30年11月 1日	赤瀬清掃社	2
平成30年11月 1日	内田清掃社	1
平成30年11月 1日	長島衛生クリーンセンター	2
平成30年11月 9日	クリーン産業	9
平成30年11月21日	あづま環境センター	1
平成30年11月27日	阿久根清掃社・ロックス	10
平成30年11月29日	サニテック	5
平成30年12月 3日	垂水巡回衛生社	16
平成30年12月 4日	鹿屋衛生管理センター	26
平成31年 2月 5日	西之表清掃社	6
平成31年 2月 5日	新栄設備衛生管理センター	3
平成31年 2月 6日	南種子衛生	9
平成31年 2月 6日	松崎商事	7
計	29回開催	448

(12) 職員研修会

平成30年 4月 2日	(1) 平成30年度事業計画について (2) 平成30年度事務分掌について (3) 各課の業務執行について
平成30年 6月15日	(1) 原因究明フローと追跡調査、改善事例集について (2) 対応レベル0の外観不具合の改善実施の検証について (3) 保守点検業者の研修について
平成30年12月26日 27日	(1) 基本検査について環境省との協議結果 (2) 試験運用の結果と今後

	<ul style="list-style-type: none"> (3) 口座振替勸奨について (4) 保守点検研修の今後の展望について (5) 水質悪化施設の改善の状況と課題について (6) 課題意識研究発表 (7) 安全運転研修 (8) その他
平成31年3月15日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 基本検査について 電子化の状況と今後のスケジュール 試験運用の状況と今後の取り組み (2) 検査結果判定検討会での決定事項について (3) 性能評価型浄化槽の不具合調査について (4) 個人情報保護について

(参考)

(1) 鹿児島県浄化槽推進市町村協議会関係

平成30年 5月28日	会計及び業務監査(さつま町長) (今辻常務)
平成30年 5月30日	会計及び業務監査(南大隈町長) (今辻常務)
平成30年 6月26日	鹿児島県浄化槽推進市町村協議会第1回運営委員会 (1) 市町村負担金の調整率について (2) 総会に提出する議案について (3) 平成31年度の予算確保等に関する県・国への要望事項について
平成30年 7月 6日	全国浄化槽推進協議会事務局長会議 (1) 第1回企画調整会議決定事項等について (2) その他
平成30年 7月18日	鹿児島県浄化槽推進市町村協議会総会 (1) 平成29年度事業報告及び収支決算について (2) 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (3) 理事の欠員に伴う補充選任について
平成30年 8月21日	浄化槽行政職員研修会(49名) (1) 鹿児島県の浄化槽行政について (2) 浄化槽の基礎知識について (3) 浄化槽設置前講習会について(佐賀県の取り組み) (4) 法定検査について (5) 省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業について
平成30年10月19日	鹿児島県浄化槽推進市町村協議会第2回運営委員会 (1) 支部研修会の開催について (2) 平成31年度の予算確保等に関する県・国への要望事項について (3) 今後の協議会の会費、負担金について
平成30年12月 5日	大島支部研修会(原常務) (1) 市町村設置型について (2) 浄化槽の役割について (3) 浄化槽行政について
平成31年 1月17日 18日	大隅支部研修会(牧事務局長・大町主査・中島検査員) (1) 平成29年度検査結果について (2) 浄化槽の施工に関する審査の留意点 (3) BOD測定装置、浄化槽モデルの見学 (4) 法定検査に関する問合せ対応について (5) PC底版工事について (6) 繊維補強コンクリート底版について (7) 法定検査現場研修 (8) 完成検査現場研修

平成31年 2月 6日	<p>鹿児島県浄化槽推進市町村協議会第3回運営委員会</p> <p>(1) 会則の一部改正について</p> <p>(2) 会費及び負担金の見直しについて</p> <p>(3) 浄化槽支柱省略工事の基準等の見直しについて</p> <p>(4) 支部研修会の開催及び報告について</p> <p>【その他】</p> <p>① 平成31年度 国の浄化槽推進関係予算案の概要について</p> <p>② 鹿児島県における新たな法定検査制度について</p>
平成31年 2月15日	<p>北薩支部研修会(牧事務局長)</p> <p>(1) 国・鹿児島県の浄化槽行政について</p> <p>(2) 浄化槽の適正な保守点検の推進について</p> <p>(3) 各市町の今後の助成制度について</p>
平成31年 2月19日	<p>鹿児島県浄化槽推進市町村協議会第2回(臨時)理事会</p> <p>(1) 会則の一部改正について</p> <p>(2) 会費及び負担金等に関する規則の一部改正について</p>
平成31年 2月21日	<p>熊毛支部研修会(原常務)</p> <p>(1) 市町村設置型について</p> <p>(2) 地下浸透又は蒸発散の場合の確認や対応について</p>
平成31年 3月20日	<p>南薩支部研修会(牧事務局長)</p> <p>(1) 浄化槽設置工事における検査のポイントと問題点について</p> <p>(2) 浄化槽工事に伴うPC底版の普及状況について</p> <p>(3) 繊維補強コンクリート底版について</p>

(2) 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業説明会

環境省の事業（事業執行団体：（一社）全国浄化槽団体連合会）

- ・ 事業趣旨 既設中・大型合併処理浄化槽の処理工程におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の抑制を図るために効率的な機械設備等を導入し、地球環境保全及び生活環境の保全に資することを目的
- ・ 事業内容
 - タイプ1 既設合併処理浄化槽に係る省CO₂型の高度化設備の導入・改修費について1/2を補助（51人槽以上）
 - タイプ2 旧構造の合併処理浄化槽を性能評価型浄化槽へ入れ替える本体・工事費用について1/2を補助（101人槽以上）
- ・ 予算 10億円

既設大型浄化槽の浄化槽管理者を対象に説明会を実施した。

平成30年6月4日	南さつま市(牧局長)	平成30年6月7日	霧島市(原常務)
平成30年6月4日	指宿市(今辻常務)	平成30年6月11日	鹿屋市(牧局長)
平成30年6月5日	鹿児島市(原常務)	平成30年6月11日	屋久島町(原常務)
平成30年6月5日	日置市(今辻常務)	平成30年6月12日	志布志市(牧局長)
平成30年6月6日	薩摩川内市(原常務)	平成30年6月13日	西之表市(牧局長)
平成30年6月6日	出水市(牧局長)	平成30年6月13日	徳之島町(今辻常務)
平成30年6月7日	伊佐市(今辻常務)	平成30年6月14日	奄美市(牧局長)

平成30年度実績

		全 国	鹿児島県
事業件数	タイプ1	424件	21件
	タイプ2	9件	1件
補助金額	タイプ1	504,850(千円)	22,084(千円)
	タイプ2	158,448(千円)	12,458(千円)
合計	事業件数	433件	22件
	補助金額	663,298(千円)	34,542(千円)